

クリニカルパスウェイ 人工股関節置換術を受ける患者さんへ

2016年4月作成
東京慈恵会医科大学附属第三病院

患者番号 @PATIENTID 患者氏名 @PATIENTNAME

	外来	手術前日	手術当日	術後1日目	術後2日目	術後7日目(1週目)	術後8日目	退院日
日時	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
目標	☐ 手術の説明を受け理解が出来る ☐ 中止する薬がわかる	☐ 手術の必要性が理解でき、手術に同意できる ☐ 脱臼を予防するための方法がわかる ☐ 術前経口補水・飲水の必要性・方法が理解できる	☐ 麻酔・手術に対しての不安が最小限である ☐ 傷の痛みや他の痛みを表出できる	☐ 下肢の痺れや冷感がなく、痛みが和らぐ ☐ 股関節脱臼を起こさない ☐ 深部静脈血栓の徴候がない ☐ 車椅子に乗車できる	☐ リハビリに積極的に取り組みることが出来る ☐ 歩行器にて歩行できる ☐ 深部静脈血栓の徴候がない	☐ 杖歩行の練習を進める ☐ 疼痛コントロールがつく ☐ 深部静脈血栓の徴候がない ☐ 傷の感染の徴候がない	☐ 杖歩行の練習を進める ☐ 自宅生活を描きながらリハビリを行う ☐ 深部静脈血栓の徴候がない	【退院基準】
食事	●制限はありません ●治療食の有無の確認をします	●手術前日の夕方まで食事ができます ●経口補水液または飲水を20時～翌朝6時まで飲みます	●手術当日は食べることはできません ●指示のない限り朝6時以降は何も飲んではいけません 	朝のみ全粥食、昼から通常の食事が出来ます 				
活動	制限はありません	制限はありません	●術後はベッド上安静です ●足首など動かせる部分は運動してもかまいません 	車椅子に乗ることができます	リハビリに合わせて歩行を進めていきます			
検査処置	採血・検尿・レントゲン・心電図・肺活量の検査があります 	必要に応じて血液検査や整形外科以外の診療科の診察があります	●弾性ストッキングをはきます(外す許可があるまではいっています) ●術後に採血をし貧血が進行していた場合は輸血を行います	●随時、血液検査・レントゲン撮影があります ●痛み止めの管を抜きます ●血栓予防のためのワーファリンを内服開始します(退院時で終了)	傷口のチューブを抜きます	傷の抜鉤があります	傷のチェックがあります	
薬	持参薬の確認をします 抗凝固薬の有無を確認します	持参薬の確認をします	●麻酔科医の指示で内服薬の調整をします ●手術後に点滴があります ●疼痛時は鎮痛薬/座薬を使用します	●朝・夕に抗生剤の点滴があります ●医師の指示のもと常用薬の内服が再開します 	朝・夕に抗生剤の点滴があります			
清潔	制限はありません	制限はありません	術後、尿の管・傷口にチューブ・背中に痛みどめの管が入ってきます 	尿の管を抜きます 看護師が身体を拭きます	適宜、清拭・洗髪などの清潔ケアを行います		傷に問題がなければシャワー浴の許可が出ます 	
指導説明	入院生活と手術についての説明があります	●入院生活と手術についての説明があります ●麻酔科医師の説明があります ●手術後の訓練の説明をします ●薬剤師が薬について説明をします	手術後、主治医より手術結果について説明があります	●リハビリ科医師の診察があります ●脱臼予防指導を行います ●深部静脈血栓の予防について説明します	リハビリ室での訓練が始まります	杖歩行訓練をします		退院までに入浴時の脱臼予防について説明をします